



人形から平和の尊さを学ぶ

浜岡北小学校が4月15日、市の指定文化財である青い目の人形「マーベル・ワレン」を題材にした道徳の授業を実施しました。人形は、昭和2年に日米友好の証しとして寄贈されたもの。戦時中は当時の用務員により戦火を免れました。約90年伝えられてきた逸話を聞いた児童は、「戦争は絶対にやってはいけない。平和が続いてほしい」と授業を振り返りました。

◀「マーベル・ワレン」を興味深そうに見つめる児童



スマホの使い方楽しく体験

市は4月19日と20日に、スマートフォンの利便性を実感してもらうとともに、デジタル機器・サービスを活用するきっかけとすることを目的として、スマートフォン体験教室を開催しました。

参加者らは、「想像よりも簡単に操作ができた。暮らしを便利にするためスマートフォンを生活に取り入れたい」と意欲を見せていました。

◀講師の丁寧な指導でスマートフォンの操作方法を学ぶ参加者



園児ら元気に火の用心誓う

市消防本部は4月25日、高松幼稚園で幼年消防クラブの結成式を執り行いました。同クラブは、安全・安心で快適に暮らせるまちづくりの実現を目指し市内9園でそれぞれ発足されます。同園年長児童は、早田和弘消防長と「火遊びをしない」、「お父さんやお母さん、地域の人との決まりを守る」、「うそをつかない」の3つを約束しました。

◀「火の用心！」と拍子木を鳴らす園児



海の安全見守り続ける灯台

御前埼灯台を守る会が主催する御前埼灯台まつりが5月1日から5日にかけて、同灯台前広場で開催されました。広場では、太鼓やハーモニカ、コーラス、ミニコンサートなどのイベントが行われ、参加者や来訪者でにぎわいました。

同会会員らは、隣接する資料館で灯台に関する資料を展示し、灯台の歴史や魅力も伝えました。

◀会場で力強いソーラン節を披露する御前崎小学校6年生児童